

優秀賞

美味しい水をいつまでも

黒部市立清明中学校 二年 近川 藍子

私たちの住んでいる黒部市には、清水（しょうず）と呼ばれる湧水がたくさんある。特に生地（いくじ）という地域では、地域の方々の共同洗い場としても使われている。それだけ、黒部は地下水が豊富なのだ。そして、私が水の凄さや、私たちが恵まれているのだということを感じた思い出がある。

小学校四年生の時、私は校外学習で浄水場の見学に行った。当時の私としては難しい話が多かったが、浄水場できれいにした水と地下水の飲み比べをした記憶がある。その後に職員の方が「黒部の水道から出る水は、地下水をきれいにした水なんですよ。」と言ってくれださった。ほとんどの水道から出る水は、川の水を汲み、何段階もかけてきれいにした水が届くのだそうだ。一方、黒部などの一部の場所では、地下水を汲み上げ、きれいにして私たちのもとへ届く。その工程は二段階ほどだった記憶がある。消毒薬もあまり使っていないため、蛇口から出る水もおいしいのだ。

しかし、調べてみると地下水を汲み上げることには、問題点もあるということがわかった。その一つは地盤沈下だ。地下水は、地盤を支える役割があるため、汲み上げすぎると地盤沈下が起きてしまう。

また、水の汲み上げすぎにも問題がある。地下水は雨が降ってから三十年〜四十年かけて湧水として出てくるのだ。つまり、今、降っている雨が、地下水として私たちのもとへ届くのはとても後のことだ。今、水をたくさん汲みすぎると、水不足になってしまいかもしれない。地盤沈下も水不足も起きてはほしくないものだ。

ただ、きれいで美味しい地下水や湧水は、古くから私たちや世界中の人々の生活にとって欠かせないものだ。今は、水道からの水を使っているが、元をたどれば地下水だ。しかし、蛇口をひねれば地下水が出てくるのに、清水がこれほどにも私たちの生活に根付いているのは

なぜだろうか。

私は保育園の年中のときに、十キロ遠足という行事で生地を歩き回った。当時の私は、黒部市外に行けないということで、乗り気ではなかった。だが、今思うと清水に触れるのはこれが初めてで、地域について知る良い機会だった。道中にある清水は、少し休憩して水分補給などをする絶好の場所だったと思う。清水は、水を使うためだけでなく、休憩場所や憩いの場として利用されているため、私たちの生活に根付いているのだと思う。

地下水は、今までも、これからも私たちにとって欠かせないものだ。美味しい水がいつまでも飲むことができるように節水を心がけていくとともに、水が好きな時に飲めるという感謝も忘れないようにしたい。

また、地域の伝統として残っている湧水、清水を大切にしていきたいと思う。清水巡りスタンプラリーのようなことをすれば、小さい子供たちも、とても楽しく、水のこと、そして地域のことを知ることができると思う。このような水を通した人々のつながりのおかげで、美味しい水を私たちは飲むことができているのだと思う。